

大阪・関西万博に関する関係者会合

1. 日 時：2024年9月10日（火）12：50～13：20

2. 場 所：官邸4階大会議室

3. 議事次第：

（1）開催に向けた準備状況の報告

（2）出席者からの発言

4. 資料

資料1：大阪・関西万博開催に向けた準備状況

資料2：IR工事における万博への影響低減策

資料3：ケルケンツェス・BIE事務局長からのメッセージ

5. 出席者

【政府】

| | |
|--------|-----------|
| 岸田 文雄 | 内閣総理大臣 |
| 林 芳正 | 内閣官房長官 |
| 齋藤 健 | 経済産業大臣 |
| 自見 はなこ | 国際博覧会担当大臣 |
| 堂故 茂 | 国土交通副大臣 |
| 高村 正大 | 外務大臣政務官 |
| 村井 英樹 | 内閣官房副長官 |
| 森屋 宏 | 内閣官房副長官 |
| 栗生 俊一 | 内閣官房副長官 |

【地元自治体】

| | |
|-------|-------|
| 吉村 洋文 | 大阪府知事 |
| 横山 英幸 | 大阪市長 |

【経済界】

| | |
|-------|--------------------|
| 十倉 雅和 | 日本経済団体連合会・会長 |
| | 日本国際博覧会協会・会長（代表理事） |
| 松本 正義 | 関西経済連合会・会長 |

【日本国際博覧会協会】

| | |
|-------|------|
| 石毛 博行 | 事務総長 |
|-------|------|

○自見国際博覧会担当大臣 時間になりましたので、大阪・関西万博に関する関係者会合を開催いたします。

司会は、国際博覧会担当大臣である私が務めさせていただきます。

本日は、開幕に向けた準備状況や課題、その対応について関係者間で共有するためお集まりいただきました。

まず、開幕に向けた準備状況について報告をいただいた後、皆様からそれぞれ取組状況について御報告いただきます。

はじめに、事務方より開幕に向けた準備状況についてご説明いただきます。

○茂木首席国際博覧会統括調整官 資料に沿って、準備状況について説明いたします。

昨年10月と直近の今年8月の空撮写真を比べると会場建設が大きく進捗したことがおわかりになると思います。会場のシンボルである大屋根リングは、昨年6月に組み立てが始まりまして、本年8月に1周がつながりました。更に、日本館、EXPOホール、民間パビリオンなどの建設も着々と進んでいます。

2ページをご覧ください。

「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表したリングの中に161か国が出展し、その配置も確定をいたしました。またそのうち各国が建築する独自パビリオンも52か国に上ります。

建設の遅れが心配されておりましたが、海外パビリオンの建設が進んでいます。開幕に向けまして、引き続き各国とも連携し、建設状況をフォローしながら、着実に準備を進めて参ります。

3ページ目をご覧ください。

海外パビリオンでは、「未来社会」や「循環型経済」といった万博のテーマに沿いまして、伝統文化と最新技術の融合、多様なライフスタイルといった各国独自の工夫を凝らしたパビリオンが予定されています。

4ページをご覧ください。

さらに、技術革新や未来に向けた取組を体験できる数多くのパビリオンが準備をされておりまして。

企業、経済界の創意工夫が盛り込まれたパビリオンや、各分野のエキスパート8名がプロデュースする「いのち」をテーマとする8つのパビリオンなど、多くの見所がございます。

5ページをご覧ください。

70年大阪万博でワイヤレステレホンが登場したように、万博はいつの時代も未来技術に触れる場でございます。AIやロボット、ヘルスケア、GXといった新技術が社会実装された姿を示し、イノベーションの力で変革する日本の姿を世界に発信していきます。

6ページをご覧ください。

万博期間中は、来場者が楽しみながら学び、気づきを得ることができるイベントが用意されています。例えば、花火やドローン、噴水などによって織りなされる、光や音楽が共鳴し合うスペクタクルなショーが毎日開催されます。

さらに、日替わりで開催されるイベントは、これから象徴される著名なアーティストによるライブや日本各地のお祭り、伝統芸能の他、万博の参加国が企画するイベントもがございます。

8ページをご覧ください。

開催期間中のほぼ毎日、各国のナショナルデーが設けられます。このナショナルデーにあわせまして、海外の要人やビジネスミッションの来訪も見込まれます。この機

会を活用した商談会や各種イベントを通じたビジネスマッチングも進めてまいります。

9ページをご覧ください。

さらに、万博国際交流プログラム、首長連合といった取組によりまして地域とも連携を深めておりますし、海外におけるイベントでも、総理や大臣に万博のPRに取り組んでいただいているところでございます。

最後10ページをご覧ください。

開幕まで残り7ヶ月でございます。会場建設に一定のメドがついてきました。着実に会場整備を進めながら、会期中の会場運営に向けた具体的な準備も本格化してまいります。

経済界、大阪府市の皆様の協力も集めながら機運醸成を進めるとともに、交通インフラの管理や会場内の安全確保などの円滑な会場運営、そして海外賓客の接遇、会期中に向けた協会体制の強化といった一連の課題に取組、準備に万全を期してまいります。

以上で準備状況についての報告を終わります。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続きまして、吉村大阪府知事より万博開催期間中のIR工事についてご説明いただきます。

○吉村大阪府知事 大阪府知事の吉村です。岸田総理のリーダーシップによりまして、昨年に引き続いて、大阪・関西万博に関する関係者会合を開催いただき感謝申し上げます。ありがとうございます。我々地元自治体としましても、素晴らしい万博の開幕・成功に向けて一生懸命取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

また関係各省の皆様には、万博での未来社会の具体化に向けた政府の「大阪・関西万博アクションプラン」に掲げた取組を、地元の意向も踏まえ、着実に進めていただいております。改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

万博開催期間中のIR工事については、この間、政府の皆様、斎藤経済産業大臣においてBIEをはじめとする関係者と精力的にご議論いただき、先週、斎藤大臣からご連絡があり、本日、ご説明の機会をいただくこととなり、ありがとうございます。

大阪府・市としては、2025年に開催する万博、そして2030年秋頃の開業をめざすIR、ともに重要な事業であることから、両立できるように調整を進めており、事業者においても、万博に悪影響が生じないよう最大限の対策を検討し、今般、府・市、事業者において万博への影響低減策をとりまとめましたので、その内容について説明させていただきます。

まず、資料の1ページをご覧ください。IR工事における万博への影響低減策の概要をお示ししております。工程調整と交通・騒音・粉塵・景観の5つの項目で対策をまとめております。具体的には、3ページ目以降でご説明致します。

まず、3ページです。工程調整についてまとめております。

杭工事を約2か月延期することで、重機の稼働台数・工事音のピークを万博閉幕後にずらし、万博会期中の工事量を大幅に低減することとしています。

また、関係者による連絡調整会議を新たに立ち上げ、万博に悪影響が生じないよう進めていくこととしております。

次に4ページをご覧ください。

交通対策として、IR工事車両の台数の削減や通行箇所の変換などにより、万博開催中の交通渋滞を回避しますとともに、不測の事態に備え、追加的な対策を検討・実施してまいります。

次に5ページです。騒音対策については、杭の施工は、打ち込みではなく、地盤を掘削して、杭を建て込む工法など、低騒音工法を採用することとしています。併せて、万能堀・防音シート等の設置や、工事を施工する土地の高さ、施工基盤面を切り下げることによって、騒音影響を低減します。

これらの対策により、万博会場への騒音の予測値としては、商業地域の環境基準を満たし、博物館内と同程度の低い値となっています。

6ページをご覧ください。

粉塵対策としては、残土仮置位置等の調整や施工基盤面の切り下げ、散水等により、工事を行わない場合と比べても、粉塵の影響は軽減できるものと考えております。

最後に7ページ、景観対策ですが、万博会場からの見え方をお示ししています。このとおり、リング上から一部の施工機械・工事現場が見えますが、その見え方は限定的なものとなります。

対策の説明は以上となりますが、万博会場に悪影響が生じることを防止するため、いまご説明した対策を確実に実施し、万博とIRが共存して、そしてすばらしい万博を成功させたいと思っておりますので、この間の政府の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

それでは、御出席の皆様から取組状況の報告をお願いしたいと思います。

はじめに、恐縮ですが私からご説明させていただきます。

開幕まで約7か月となり、遅れが指摘されていたパビリオンの建設を含め、万博の準備をここまで進めることができたことについて、建設業界を所管する国交省をはじめ関係者の方々に御礼を申し上げます。

現在、準備の段階は、建設から運営へとシフトしている中、6月には、査証やレストランの営業許可・銀行口座の開設手続きなど、各国の手続きを一元的に取り扱う「ワンストップショップ」をスタートさせ、6月に奈良で開催された国際参加者会議では、ケルケンツェスBIE事務局長や各国からも高く評価されたところです。

また、こどもたちを含む来場者に安心して万博を楽しんでもらうため、メタンガス対策などの安全対策を強化し、学校の教職員向け説明会でも説明を行い、約2000の学校関係者に参加いただきました。

今月2日に博覧会協会が公表した防災実施計画でも、災害時の避難計画や暑熱対策などを盛り込んでいます。

さらに、全国の機運醸成に向け、全国各地で地方活性化と連携した万博のPRイベントを実施するとともに、参加国と全国の自治体の交流についても、すでに111の交流計画が登録されています。

今後、参加国との関係については、万博を契機とした、ビジネスマッチング、訪日観光客の拡大、途上国支援に力を入れていきます。海外から来場いただいた方には、万博だけでなく他の地域もあわせて回っていただく“one more place”が重要と考えています。

私自身、まさに韓国・香港に足を運ぶとともに、インバウンド上位国の在外大使とWEB会談等を行い、JETRO、JNTO、JICAなどの関係機関と連携した取組の一層の強化をお願いしたところです。

来月には、開幕半年前を迎え、チケットの来場予約がはじまります。万博の魅力や中身も段々と明らかになると、そうした情報をしっかり発信することで、参加国と連携しつつ国内外の機運を高めていきたいと思っております。

続いて、齋藤経済産業大臣、お願いいたします。

○齋藤経済産業大臣 はじめに、万博開催期間中の IR 工事について述べます。

ケルケンツェス・BIE 事務局長をはじめ関係者の懸念がある中、「万博も IR も重要な事業だが、開催期間中は万博の成功を最優先」という政府の考え方にそって、関係者との調整を進めてまいりました。

先月 30 日には私自身がケルケンツェス事務局長と直接面談し、具体的かつ率直なやりとりを行いまして、対応の大きな方向性をご理解いただきました。

吉村知事には、先週、その旨をお伝えし、本日、この方向性にそってまとめられた一連の対策につきご報告があったことを、万博を担当する経済産業大臣として歓迎をいたします。

次に、経済産業省としての取組ですが、経済産業省からは、博覧会協会の体制強化のため、局長級幹部をはじめ 40 名を超える職員を派遣しています。経済産業省本省との連携を密に、取り組んでまいります。

大阪・関西万博に要する費用につきましては、予算執行監視委員会を私の下に設置し、第三者の目も入れながら、費用の適正性について継続的にしっかりとモニタリングを行ってまいります。引き続き、関連予算の適切な執行を進めてまいります。

この万博は、「未来社会の実験場」のコンセプトのもと、社会課題解決につながる技術の実証・実装・発信を図る千載一遇の機会です。経済産業省としても GX やデジタルといった関係政策を総動員し、循環をテーマとする日本館をはじめ、イノベーションの力で変革する日本の姿を世界に発信していきます。

最後に、本日ご出席の皆様には、大阪・関西万博の成功に向け、これまで以上のご協力をお願いして、私の発言といたします。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、堂故国土交通副大臣、お願いいたします。

○堂故国土交通副大臣 まず、パビリオン建設をめぐる課題を受けまして、建設業界の声を踏まえて、円滑な施工環境を整備してまいりました。

開幕に向け、引き続き適切に対応してまいりたいと思います。

次に会場アクセスとなる、Osaka Metro 中央線の延伸や淀川左岸線 2 期の整備は順調に進んでおり、先日、Osaka Metro 中央線夢洲駅の開業が、来年 1 月 19 日と発表されたところであります。

交通渋滞対策も重要であります。会場へのアクセス道路となる夢舞大橋の 6 車線化などのハード面の取組が順調に進捗しているほか、開幕後の一般交通を抑制する TDM などの、ソフト面の取組も関係者と連携し、着実に進めてまいりたいと思います。

万博は、日本の魅力を世界の多くの方々に知っていただき、全国各地へ誘客を促進する極めて重要な機会でもあります。

博覧会協会とも連携しながら、海外からの来場者拡大を目指すとともに、万博を契機に、更なるインバウンドの拡大を目指してまいります。

具体的には、JNTO からの多言語による情報発信などの訪日プロモーションの戦略的な実施に取り組んでまいりたいと思います。

国土交通省として、引き続き万博の成功に向けてしっかりと取り組んでまいります。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、高村外務大臣政務官、お願いいたします。

○高村外務大臣政務官 大阪・関西万博開幕まで約 7 か月となり、外務省としても、万博の成功に向けて、関係省庁や博覧会協会と協力しつつ、参加国への働きかけ等を行っております。

外務省では、各国の出展準備が滞りなく進むように、在外公館を通じて最大限の側面支援を行っております。また、昨今は特に、海外での機運の醸成、海外からの誘客、ビジネスマッチングのための取組にも力を入れております。

また、開催期間中のナショナルデー、スペシャルデーには、各国・国際機関から要人が来訪することが見込まれています。各国・機関との関係強化の機会とすべく、外務省では、訪日する賓客を受け入れるための準備を進めてまいります。

今後とも、大阪・関西万博の成功のため、関係者と緊密に連携して、外務省の役割をしっかりと果たしていく考えであります。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、大阪府の吉村知事、お願いいたします。

○吉村大阪府知事 地元大阪の万博に向けた今後の取組について発言をさせていただきます。

まず、チケットの販売促進の取組についてです。開幕 200 日前の 9 月 25 日に、パビリオン・イベント・観覧予約の特別抽選の申し込みが開始されることなどを見据えまして、9 月 17 日から府内のイオンモール等の大規模商業施設や区役所等の公共施設に、万博来場サポートデスクを設置いたします。サポートデスクでは、チケット購入や来場日時予約等に係る Web 手続きのサポートに加え、パビリオンや催事、会場アクセスなど万博関連の情報発信を行います。万博会期末までの間、府内を巡回して、より多くの方に万博に来ていただけるよう取り組んでまいります。

次に、万博の機運醸成については、会期中においても自治体催事として、府内 43 の全市町村と連携をして、大阪ウィークを春・夏・秋の 3 期にわたって開催するなど、引き続き、オール大阪で万博を盛り上げていきますと共に、私自らも全国知事会等の機会を活用いたしまして、全国各地で万博の PR を行っています。

加えまして、会期中の交通混雑の緩和を図るために、会場アクセスとなる Osaka Metro 沿線を含む大阪府域の企業の皆さまに対しまして、在宅勤務や時差出勤等を働きかける万博 TDM のトライアルを、国の関係機関にもご協力をいただきながら、今月 9 月 30 日から 10 月 4 日に実施をし、会期中の円滑な来場者輸送につなげていきたいと思っております。

万博の開催まであと 200 日余りとなりました。万全の状態で開催を迎えられるように、政府はじめ関係者の皆さまと一体となって地元として取り組んでまいります。引き続き、お力添えをどうぞよろしくお願いを申し上げます。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、大阪市の横山市長、お願いいたします。

○横山大阪市長 岸田総理におかれましては、万博の成功に向けまして、本日こうした会合を設けていただき感謝申し上げます。また、各省の皆さま並びに経済界の皆さまにおかれましては、日頃より多大なご尽力を賜り、感謝を申し上げます。

昨年 8 月 31 日に、まさにこの場で、総理から「万博の準備はまさに胸突き八丁」といったご発言もあった中で、地元自治体として海外パビリオンの建設促進につながるよう、あらゆる選択肢を検討の俎上にあげまして、施工環境の改善の取組を進めてきたところでございます。

私の方からはこの施工環境改善につきましてご報告申し上げます。主だった取組といたしまして、会場周辺の道路工事におきましては、当初 12 月末を予定しておりました夢洲北高架橋の完成を 5 か月前倒ししまして、8 月 1 日から工事車両の通行に活用しています。

また、Osaka Metro 中央線の夢洲駅までの鉄道延伸工事におきましても、こちらも大幅に前倒しを図りまして、来年の 1 月 19 日の開業を発表したところでございます。

これによりまして万博開幕前の準備作業を行うスタッフなどの移動手段拡充に寄与するものと考えております。

加えまして、工事車両出入口の拡充や、IR予定地を含めた夢洲内の市有地を建設工事のバックヤード用地等として提供しているほか、上水については既に整備済みでございます。下水につきましては、当初予定より3か月前倒ししました。2025年1月の供用開始でございましたが、こちらも少しでも早められるよう取り組んでいるところでございます。

今後も工事が輻輳する中ではございますが、こうした施行環境改善の取組を着実に進めてまいります。

また先般、防災実施計画が策定されましたが、安全・安心の確保が重要であり、府市としても備蓄食料の上積みへの協力、また帰宅困難者対策などを進めてまいります。

開幕まで残すところあと215日、万全の状態で開催を迎えることができるよう、引き続き国、経済界、協会等と密に連携しまして、取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、日本経済団体連合会及び博覧会協会の十倉会長お願いいたします。

○十倉日本経済団体連合会会長・2025年日本国際博覧会協会会長 ありがとうございます。本日、この場にまいりまして、約1年前のシーンを思い出しました。昨年8月の会議において、総理から、万博成功に向けて政府の先頭に立って取り組む決意が表明されました。総理の強いメッセージを受け、先ほどの報告のとおり、この1年で万博の準備が大きく進展いたしました。改めて感謝を申し上げます。

本日、総理主宰の下、関係閣僚、大阪府知事・市長、経済界が一堂に会し、大阪・関西万博の成功に向けてオールジャパンで取り組むことを改めて確認でき、大変心強く思っております。

また、IR工事に関しましても、齋藤経産大臣のリーダーシップのもと、吉村知事をはじめとする関係者のご努力によりまして、万博開催に悪影響が生じないよう、対応の方向性が示されました。

この間の総理のリーダーシップに、心より敬意を表したいと存じます。

大阪・関西万博は、ポストコロナの時代に開催される初めての万博であります。1970年の大阪万博は77か国、2005年の愛・地球博が121か国、そして今回の万博は161か国・地域の参加であります。世界が分断傾向にあるなか、多様性を尊重しつつ、世界の人々が一つになって連携するという理念を日本から発信することは、極めて大きな意義を持ちます。また同時に日本の魅力をアピールし、今や日本経済にとっての大きな柱となっていますインバウンドの拡大にも資するものと思われれます。

経団連といたしましては、万博は国家プロジェクトであるとの認識の下、会場建設費の寄付、前売り入場券の購入、全国的な機運醸成などに関して、しっかり取り組んでまいりました。万博の成功に向け、引き続き全力をあげてまいりたいと思います。

また、博覧会協会といたしましても、来年4月の開幕に向け、体制を強化するなどして、万全の準備を進めてまいります。政府はじめ皆さま方の引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、関西経済連合会の松本会長お願いいたします。

○松本関西経済連合会会長 関西経済連合会の松本でございます。

昨年8月に官邸で開催されました関係者会合以降、総理の強いリーダーシップのもと、各省庁にもご協力いただきまして、万博の準備が大きく加速しました。改めて感謝申し上げる次第です。

会場の建設工事も順調に進んでおり、シンボルとなる「大屋根リング」も予定より早くつながったほか、各パビリオンや施設の姿も鮮明になってまいりました。多くの皆さまからの期待の高まりを日々実感しているところでございます。

こうした中、経済界では関係者が一体となりまして、全力で万博の成功に向けた取組を進めているところであります。前売りチケットにつきましては、関西経済界で既に約500万枚の購入の申し出をいただいております。

また、今後、より多くの方々に会場にお越しいただけるよう、関西はもちろんのこと、関西以外の地域でも機運醸成に向けた取組を強化してまいりたいと思います。

企業に対しても、ポスターやデジタルサイネージの掲出、鉄道・バス・航空機等のラッピング、人々が多く集まるスポットでの特別なPR企画の実施などにご協力いただいております。

政府におかれましても、引き続き、力強いお取組、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

続いて、博覧会協会の石毛事務総長お願いいたします。

○石毛 2025年日本国際博覧会協会事務総長 大阪・関西万博の開催に向け、総理をはじめ皆様から、日々ご支援・ご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

特に、昨年夏以来、協会の体制強化など支援を強化していただきまして、開催準備は着実に進展してきていると思っております。

開幕が7ヶ月後に迫り、準備も総仕上げの段階に入ってきています。経済産業省から説明がありました通り、解決すべき課題はまだあるわけではありますけれども、これからの頑張りが万博の成否を決めるとの思いで全力を尽くしますので、引き続き、皆様方のお力添えをお願いいたします。

○自見国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

出席者からの発言は以上となりますが、博覧会国際事務局、BIEのケルケンツェス事務局長からもメッセージがありますので概要を紹介させていただきます。

○自見国際博覧会担当大臣（ケルケンツェス BIE 事務局長メッセージ代読） 岸田総理のもと日本政府において、万博の準備に向けた様々な課題への取組、ご尽力に感謝します。

万博とIRは、いずれも日本にとり重要なプロジェクトと認識しています。その上で、日本政府、博覧会協会、大阪のIR事業者、BIEの連携で、IRの建設工事が万博に悪影響を及ぼさぬよう一連の措置が示されたことを、大変嬉しく思います。

これらの措置は、BIEとして申し上げた主な懸念に対処する方向へと進路を示すものでありますが、万博への参加に向け多額の投資を行っている公式参加国にも十全に説明していただきたく思います。また、今回提案された連絡調整会議にて、建設工事による万博への影響軽減が十分ではない場合、あらゆる措置が実施できることが肝要です。こうした連絡調整会議が有効に機能しなければ、万博の成功を危うくするだけでなく参加国や万博への来場者からの強い反発があるかもしれません。

大阪・関西万博の成功に向けた総理のご指導に改めて感謝申し上げるとともに、これまで同様、私自身の万博と日本への全面的なサポートを確約致します。

○自見国際博覧会担当大臣 それでは、最後に、岸田総理から締めくくりの御発言をいただきます。

総理、お願いいたします。

○岸田内閣総理大臣 今年の8月31日、まさにこの部屋、この場所に皆さま方にお集まりをいただきました。その際に、私の方からは、「万博の準備が極めて厳しい状況に置かれている。このことを改めて直視をし、正面から全力で取り組んでいかなければならない」と申し上げました。そして「私自身、政府の先頭に立ちたい」ということも申し上げさせていただきました。

それから約1年経つわけではありますが、本日、建設状況の写真等も紹介されましたが、会場の建設は前進しています。参加国からも、各国のパビリオンについて、それぞれの国の誇りをもって、前向きな発信がなされるようになりました。

イベントのカレンダーも公表されました。日本全国のお祭りが大阪に集まってきます。こども万博や世界子ども未来会議など、子どもたちが参加をし、世界各国の人々と対面で交わる機会も多数予定されているなど、準備が進んでいます。

ただ一方、まだ、課題も残されています。

まず、万博への機運醸成です。まだ、「万博に行きたい」という声が小さいというのが実情です。日本を代表する企業によるパビリオンをふくめ、万博の魅力あるコンテンツがどんどん発表されつつあり、こうした情報を、関係者で連携をして、広く届けていきたいと思えます。大阪府・大阪市では、チケット販売のサポート窓口も設置していただくことになっており、協会にとどまらず、関係省庁・府市をあげて、来場者増に向けた取組を強化して頂きたいと思えます。

訪日外国人旅行者が過去最高を記録しています。インバウンド需要を万博にしっかりと取り込み、また、万博を契機として日本全国に足を運んでもらう、こうした取組を進めてください。さらに、万博の機会を最大限活用したビジネスマッチングについても、その成果は、必ず万博のレガシーとなっていきます。自見大臣、齋藤経産大臣を中心に、積極的な取組をお願いいたします。

また、IR事業が万博に支障を及ぼさないための対応について、経産大臣も加わって府・市、事業者が調整を行った結果について、先ほど吉村知事からご報告をいただきました。ケルケンツェス事務局長からも評価も頂きましたが、しっかりと遺漏なきよう、関係者におかれては、緊密な連携のもと、対応をしていただきますようお願いを申し上げます。

次に、安全・円滑な会場運営と来場者輸送です。

何よりも、来場者及びそこで働く方たちの安全を確保することが、最重要です。暑さ対策、メタンガスへの対策、子ども目線での安全対策など、既存の計画にとらわれることなく、関係者一体となって、来場者等の安全確保のための必要な対策を実施してください。会場のみならず、来場者の輸送についても、駅での雑踏対策なども含めて、府・市が中心となって、地元自治体と連携をしながら、取り組んでください。

万が一、大規模災害が発生した場合の備えに、万全を期すことも重要です。協会任せにせず、国、地元自治体などの関係行政機関が連携して取り組んでください。

こうした対応を実現していくために、博覧会協会の体制は、会期中を見据え、官民挙げて更に強化していきます。政府としても、既に整理されている対応は着実に実施するとともに、必要な措置を機動的に行っていくことが必要です。

大阪・関西万博は、実質的に「コロナ後」で初めてとなる万博として、ともすれば「内向き」となりがちな時代に、世界と交流を深め、日本の魅力を世界に向けて発信する絶好の機会です。子どもたちから大人まで、日本だけではなく、世界各国から、多くの方に来場いただき、楽しみ、そしてそれぞれの将来に夢と希望を持ってもらう、そんな万博にしていきたいと思っています。

この想いは、今後の内閣においても引き継ぎ、政府一丸となって取り組んでまいります。開催まであと200日余り、国、府・市、協会、経済界が心を合わせて

しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。皆さま方におかれましては、引き続き、是非、それぞれの立場でご尽力いただきますよう、よろしくお願ひを申し上げます。本日も会議へのご協力、誠にありがとうございました。

○自見国際博覧会担当大臣 総理、ありがとうございました。

これで、本日の会合を終わります。皆様、ご出席ありがとうございました。